

防災コンソーシアム CORE 第3回全体会で特別講演をしました（2025/7/28）

テーマ：国土強靱化基本計画，防災・減災，
会 場：鉄鋼ビルディング（東京・丸の内）
URL：<https://www.bosai-core.jp/>

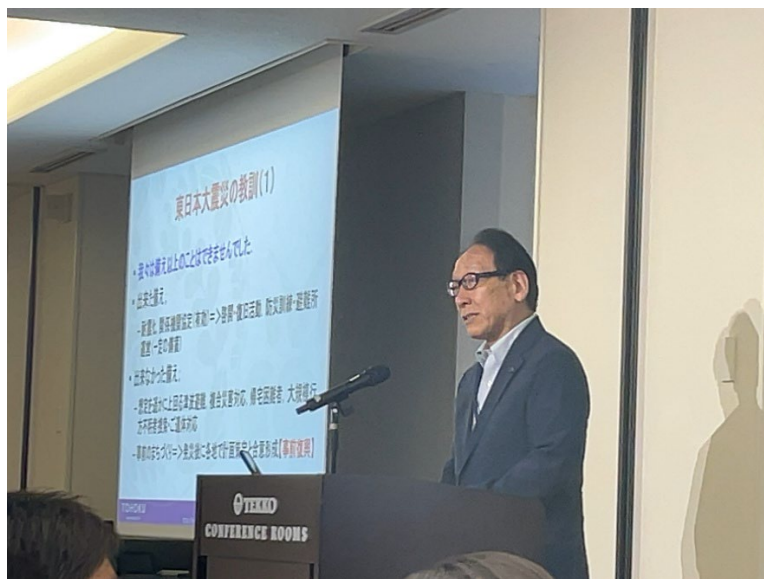
2025（令和 7）年 7 月 28 日（月），鉄鋼ビルディング（東京都千代田区丸の内）で開催された防災コンソーシアム CORE の全体会において，当研究所の今村文彦教授（津波工学研究分野）が特別講演を行いました。この防災コンソーシアム CORE は、当研究所に寄附研究部門を設けている東京海上日動火災保険株式会社が発起人となり、業界の垣根を越えて災害に強い強靱な社会を構築することを目指し 2021 年 11 月に発足したもので、現在では 131 社の企業が参画しています。

全体会では、まず竹中工務店、旭化成ホームズ、清水建設の各社から分科会の進捗が報告され、今年度からこれまでの 10 の分科会を再編成する方針が示されました。

続いて、特別講演として登壇した今村教授は、「我が国の今後の防災対策について」と題し、東日本大震災の甚大な被害と教訓、南海トラフ巨大地震の最新の被害想定について解説しました。その上で、事前復興のまちづくりや国レベルでの司令塔機能の強化、そしてサプライチェーン強靱化や防災 ISO への貢献といった民間企業の役割の重要性を訴えました。

講演後に行われたパネルディスカッションでは、小野高宏特任教授（客員）（津波工学研究分野／本務先：東京海上ホールディングス）がモデレーターを務め、櫻庭雅明特任教授（客員）（日本工営レジリエントシティー技術実装共同研究部門／本務先：日本工営）、高知県危機管理部副部長の浜田展和氏、NTT 東日本防災研究所の笹倉聡氏をパネリストに迎え、「災害に強い街づくり」をテーマに活発な議論が交わされました。

当研究所は、今後もこうした産業界との連携を密にし、研究成果の社会実装を通じて、安全・安心な社会の実現に貢献してまいります。



特別講演で話題提供する今村教授

文責：鎌田健一（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）